



第2回CCUSブロック別連絡会議資料

2023年1月

<日建連の取組みについて>

1. 日建連の新目標
2. CCUS普及に係る目標達成のための日建連の推進方策2022（概要）
3. 2021年度のタッチ数目標達成状況
4. 2022年上半期CCUS取組み状況フォローアップ調査結果
5. 今後の課題

1. 日建連の新目標

会員企業の直近の年間国内元請完工高（2022年2月時点）に基づき2022年度以降のタッチ数目標を再計算（2022.03.23）
 ※（）内は従来の数値

			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
技能者登録率 <small>（作業員名簿に記載された技能者の技能者登録率）</small>	最低限達成すべき数値		15%	25%	35%	41%	45%	49% (51%)※1	50% (55%)※1	
	上乗せ目標数値	全社	15%	36%	58%	79%	100%	100%※2	100%※2	
		推進本部15社	15%	43%	72%	100%	100%※2	100%※2	100%※2	
事業者登録率 <small>（施工体系図に記載された事業者の事業者登録率）</small>	最低限達成すべき数値		37%	52%	68%	79%	84%	84%	84%	
	上乗せ目標数値	全社	37%	53%	69%	84%	100%	100%※3	100%※3	
		推進本部15社	37%	58%	79%	100%	100%※3	100%※3	100%※3	
現場登録 <small>（推進方策2020）</small>	最低限達成すべき数値		請負金額1億円以上のすべての建設現場							
	上乗せ目標数値		すべての建設現場※4							
タッチ数	最低限達成すべき数値		国内元請完工高10億円あたりのタッチ数	163	452	914 (859)	1,443 (1,356)	1,876 (1,762)	2,693 (2,531)	2,886 (2,711)
	上乗せ目標数値	全社	国内元請完工高10億円あたりのタッチ数	244	678	1,371 (1,288)	2,164 (2,033)	2,813 (2,644)	4,040 (3,796)	4,328 (4,067)
		推進本部15社	国内元請完工高10億あたりのタッチ数（単月）について、前年同月のトップランナーの50%又は全社の目標数値のいずれか高い方を最低ラインとし、可能な限りトップランナーに近づくことを目指す							

2023年度単年度黒字化のため日建連現場で果たすべき数値

2023年度単年度黒字化の前提となる低位推計の数値

- ※1 タッチ数の上乗せ目標数値達成のためには最低この数値が必要
- ※2 カードを保有しない技能者の入場は原則として認めない
- ※3 未登録事業者の入場は原則として認めない
- ※4 小規模現場に関しては、CCUS側の対応が可能となってから適用

参考：国交省低位推計

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
技能者登録数(万人)	50	80	110	130	140	150	150
事業者登録数(万社)	7	10	13	15	16	16	16
タッチ数(百万タッチ)	7.2	20	38	60	78	112	120

CCUS普及の新目標（日建連の新たな数値目標）（2021.3.19理事会決定）

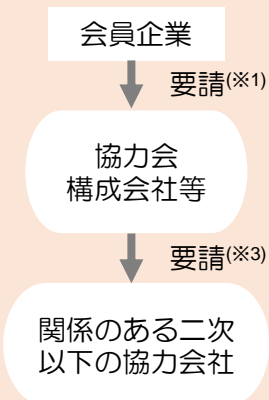


新たな推進方策（2022）を策定し、新目標の達成に万全を期す

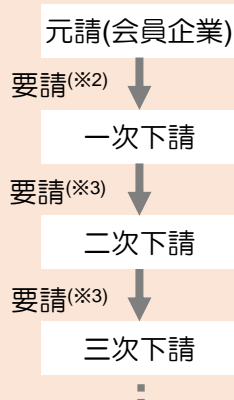
推進方策（2022）における6つの柱

1. 協力会、現場の2つのルートでの取組の強化

○ 協力会ルート



○ 現場ルート



【要請内容】

- 協力会構成会社等及び一次下請会社の事業者登録
- 当該現場で目標数値(ターゲット)、最低目標数値(コミット)を踏まえて会員企業が通知する事業者登録率、技能者登録率、タッチ率の達成

現場としてタッチ率、登録率等の状況を共有

- ※1) 協力会ルートの要請は、協力会の集まり、安全大会等の場を活用して実施
- ※2) 現場ルートは登録現場で実施し、要請は、見積依頼時等に実施（要請は契約内容ではない点に留意）
- ※3) 協力会ルートで協力会社が二次以下の協力会社に要請すること、現場ルートで一次下請会社が二次以下の下請会社に要請することも、会員企業からの要請の一部

2. 全社的体制の強化

- 新目標の数値目標を社内・現場で共有
- 現場登録・カードリーダー設置の徹底（自社の現場登録、カードリーダー設置・稼働状況を把握）

3. 建退共完全支払いとの連携

- OCCUSと建退共との連携による建退共・CCUS加入者のカードタッチに対する建退共完全掛金支払いの推進

4. 公共工事におけるCCUS要件化への協力

- 発注や契約の条件を達成できるよう十分な準備の下、積極的に入札参加

5. 施工能力等の見える化評価の活用

- 専門工事企業側のメリットのため、協力会社の施工能力等の見える化評価への申請を促進

6. フォローアップの適切な実施

- 定期的実施。会員企業の負担が重ならない形で行う。
- 具体的な内容、実施方法の詳細は、今後、CCUS推進本部で検討の上決定

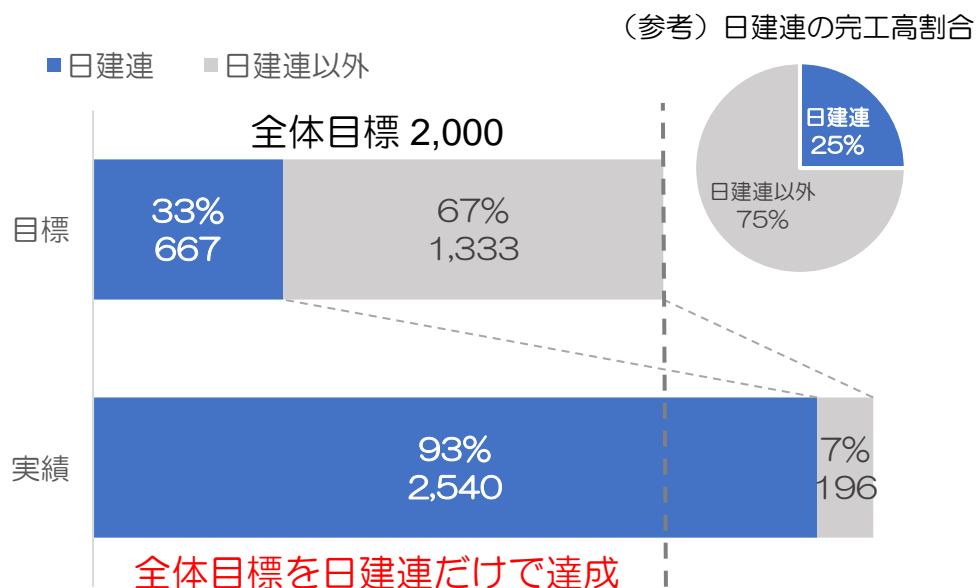
3. 2021年度のタッチ数目標達成状況

○2021年度のCCUS全体の目標は2,000万タッチ。日建連は、その1/3である667万タッチを最低目標（コミットメント）として取組みを進めた。

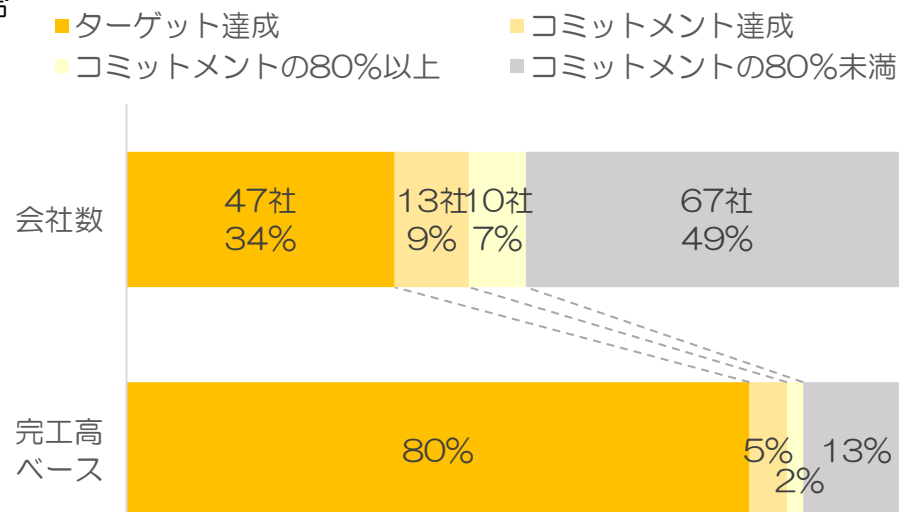
○2021年度の日建連の実績は2,540万タッチ（コミットメントの3.8倍、全タッチ数の93%）であり、全体目標を日建連だけで達成。

○日建連会員の目標達成状況は、最低目標（コミットメント）を達成した会社が60社（43%、完工高ベースでは85%）。

■ 目標と実績（単位：万タッチ）



■ 日建連会員の目標達成状況



1. 日建連は、「CCUS普及の新目標（2021年3月策定）」の2022年度上半期（2022年9月末時点）のフォローアップ調査結果をとりまとめた。

《フォローアップの経緯》

- (1) 日建連は、「CCUS普及の新目標」を策定（2021年3月）し、年度ごとに①事業者登録、②技能者登録、③現場登録、④タッチ数の目標を定めた。
 - (2) その後、「CCUS普及に係る目標達成のための日建連の推進方策（2021）」を策定（2021年7月）し、④は毎月、④以外の項目については半年に1回を目途にフォローアップを行うこととした。
 - (3) 上記①～③につき今回フォローアップを行った。
2. 2022年度目標の達成状況につき、全会員会社を対象として調査を行い、141社中119社、84%の回答を得た。

※今回の調査は、調査対象の年度更新（2021→2022）により、**事業者登録率・技能者登録率**の最低目標（コミットメント）の数値が変更。（現場登録等は変更なし）

- 2021年度の登録現場に入場する事業者登録率最低目標52%→今回**68%**
- 2021年度の登録現場に入場する技能者登録率最低目標25%→今回**35%**

4-①事業者登録の状況

2022年度最低目標（コミットメント）：登録現場に入場する事業者の事業者登録率68%

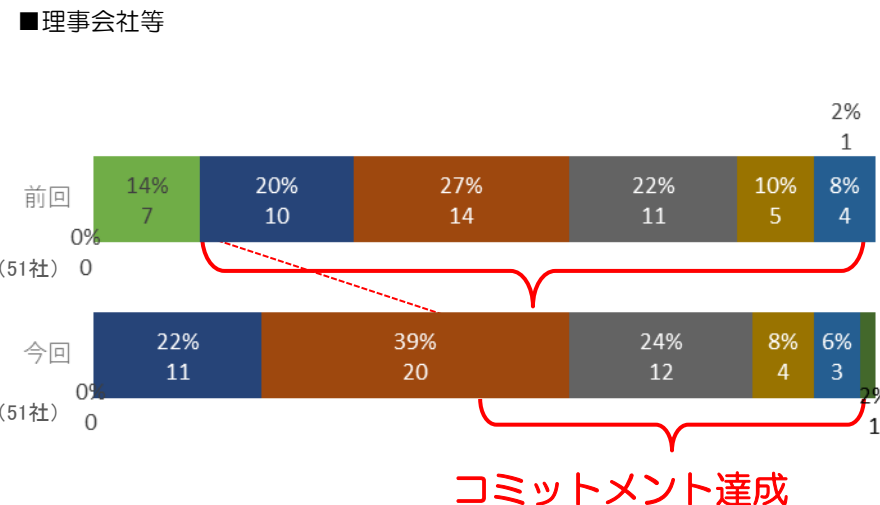
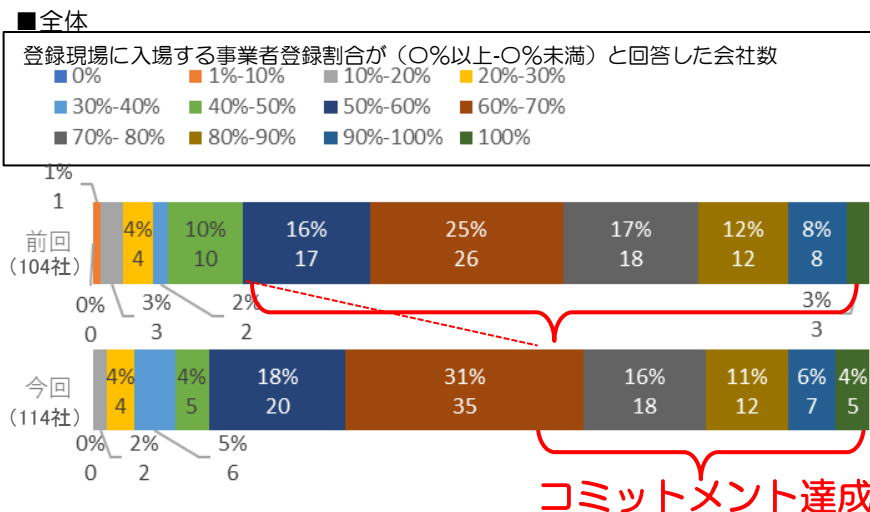
(2021年度 52%)

○登録現場に入場する事業者の事業者登録率がコミットメントを達成した会員は前回より36社減の48社（42%、事業費割合では48%）

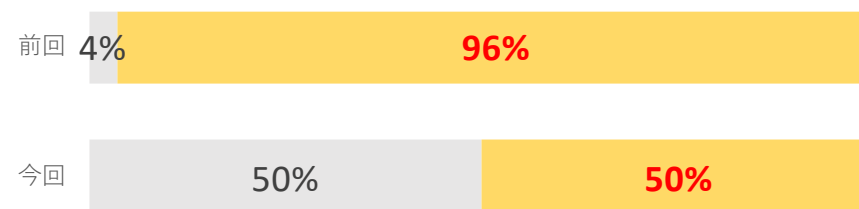
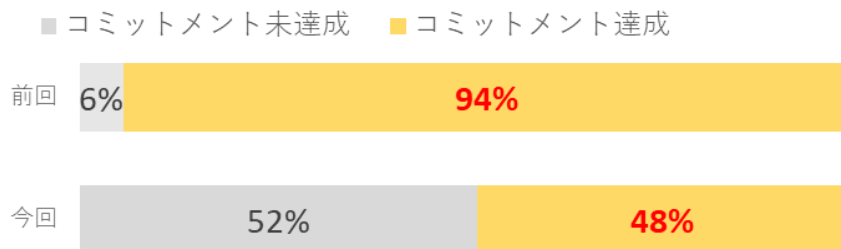
○理事会社等ではコミットメント達成は前回より22社減の22社（43%、事業費割合50%）

※コミットメント未達増の要因：前回に比べて数値目標が16ポイント上がり、該当する会員数が減少した

【登録現場に入場する事業者登録割合に係る会員企業の分布状況】



【コミットメント達成会社の事業費割合】



注1) 回答のあった会員のうち、不明と回答した会社分を除いた割合 注2) 「前回」は3月末時点

4-②技能者登録の状況

2022年度最低目標（コミットメント）：登録現場に入場する技能者のカード保有率35%

(2021年度 25%)

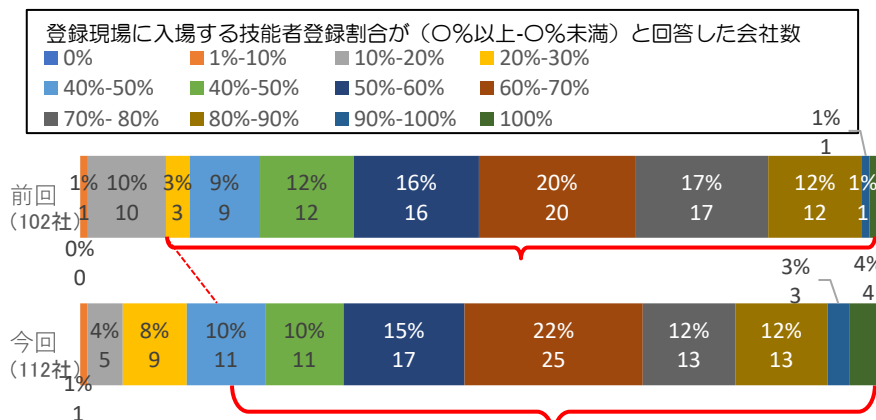
○登録現場に入場する技能者のカード保有率が35%以上を達成している会員は前回より5社増の95社（85%、事業費割合では94%）

○理事会社等では35%以上達成が前回と増減なしの49社（96%、事業費割合では96%）

※コミットメント未達割合が前回と大差ない要因：前回から35%を超えている会員が9割弱あった

【登録現場に入場する技能者登録割合に係る会員企業の分布状況】

■全体



コミットメント達成

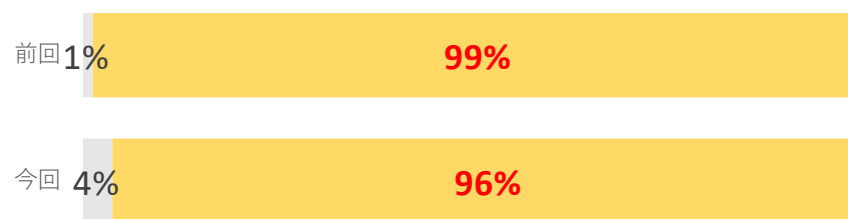
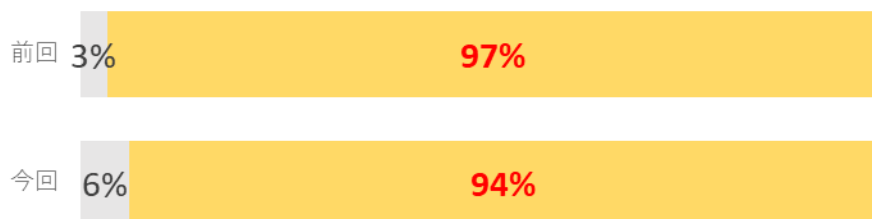
■理事会社等



コミットメント達成

【コミットメント達成会社の事業費割合】

■ コミットメント未達成 ■ コミットメント達成



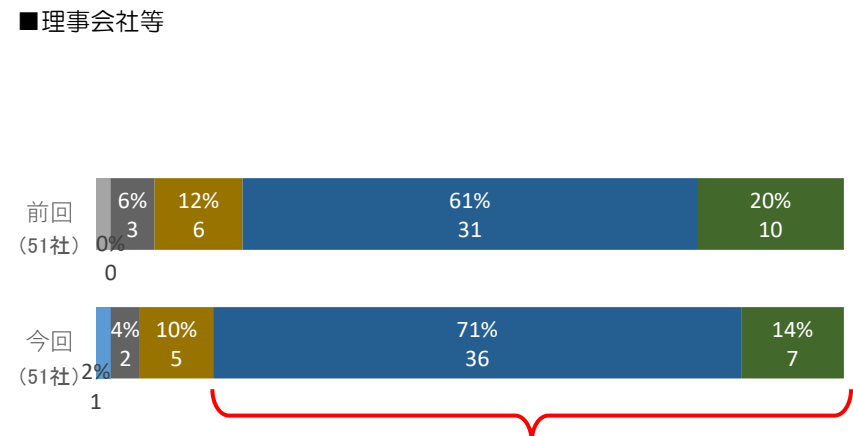
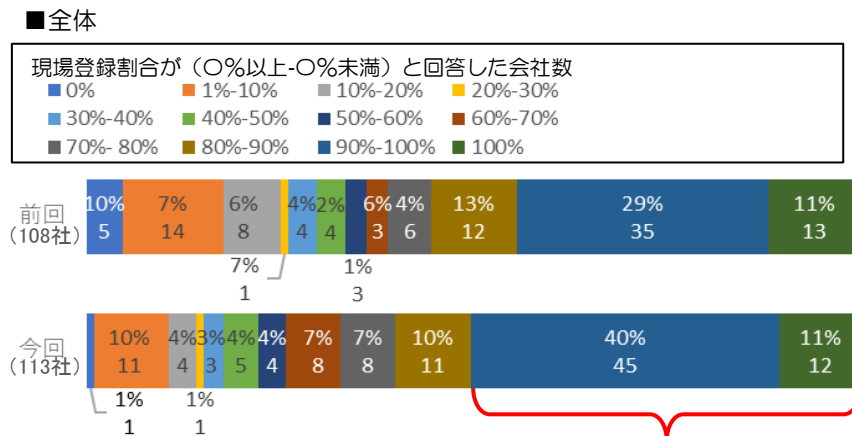
注1) 回答のあった会員のうち、不明と回答した会社分を除いた割合 注2) 「前回」は3月末時点

2022年度最低目標（コミットメント）：請負金額1億円以上のすべての建設現場

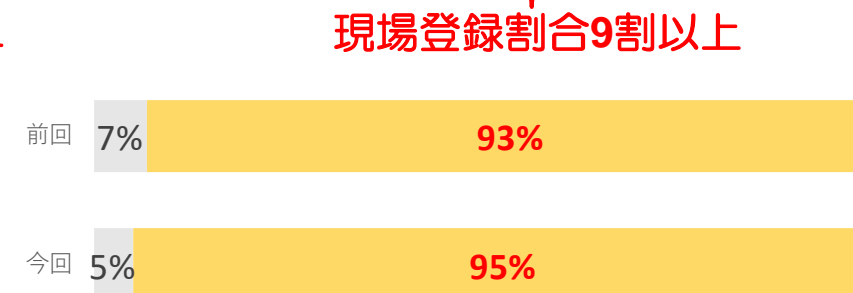
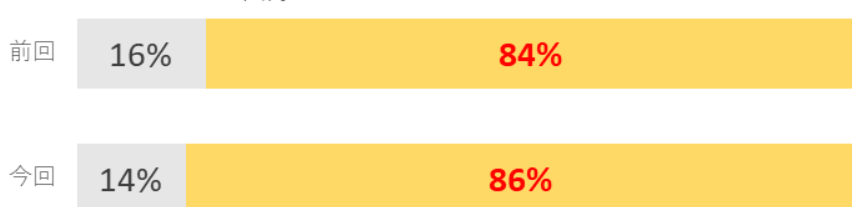
- 稼働中の工事の契約金額の合計値に占める現場登録を済ませた現場の契約金額の合計値の比率が100%の会員は12社。9割以上としている会員は日建連全体で前回より9社増の57社（51%、事業費割合では86%）、理事会社等で前回より2社増の43社（85%、事業費割合では95%）。
- 全会員企業の稼働中の工事の契約金額の合計値とそのうちで現場登録を済ませた現場の契約金額の合計値との比率は90%。

※請負金額1億円以上の全ての現場を登録すると、全事業費に占める登録現場事業費は9割を超える、という会員企業の声を基に、「現場登録割合9割以上を1億円以上」を「1億円以上の全ての現場登録」と判定した

【現場登録割合に係る会員企業の分布状況】



【現場登録割合9割以上の会社の事業費割合】

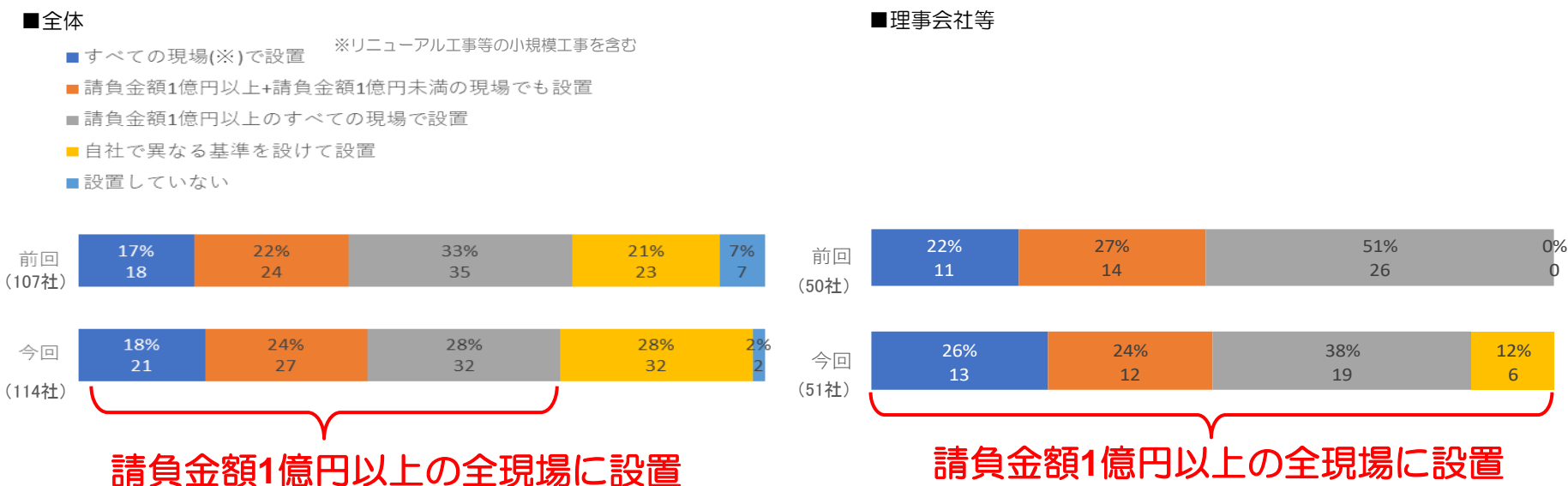


注1) 回答のあった会員のうち、不明と回答した会社分を除いた割合 注2) 「前回」は3月末時点
注3) 請負金額1億円以上の現場は請負金額ベースで全現場の9割程度と仮定

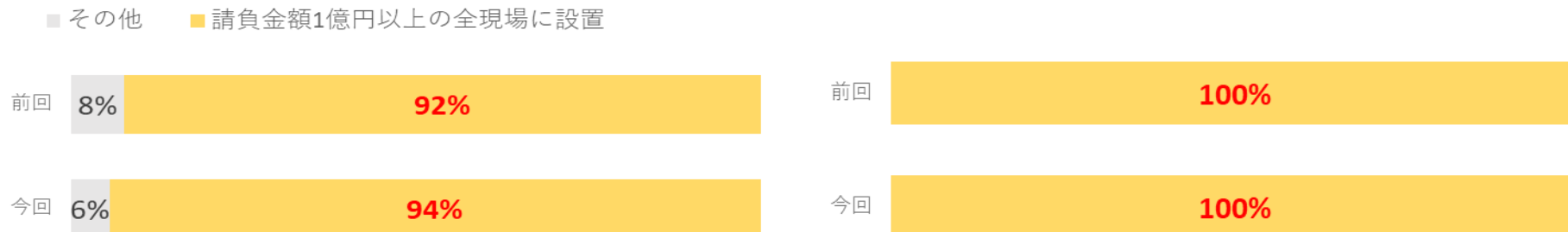
4-③現場登録等（カードリーダー等の設置基準）

○会社の方針としては、日建連全会員企業の70%（事業費割合で94%）、理事会社等の100%が請負金額1億円以上の全現場にカードリーダーを設置することにしている。うち、1億円未満の現場でもカードリーダーを設置することにしている会員は、日建連全体で前回より6社増の48社、理事会社等で前回と同じく25社。

【請負金額1億円以上の全登録現場においてカードリーダーを設置することにしている会員企業の分布状況】



【請負金額1億円以上の全現場にカードリーダーを設置することにしている会社の事業費割合】



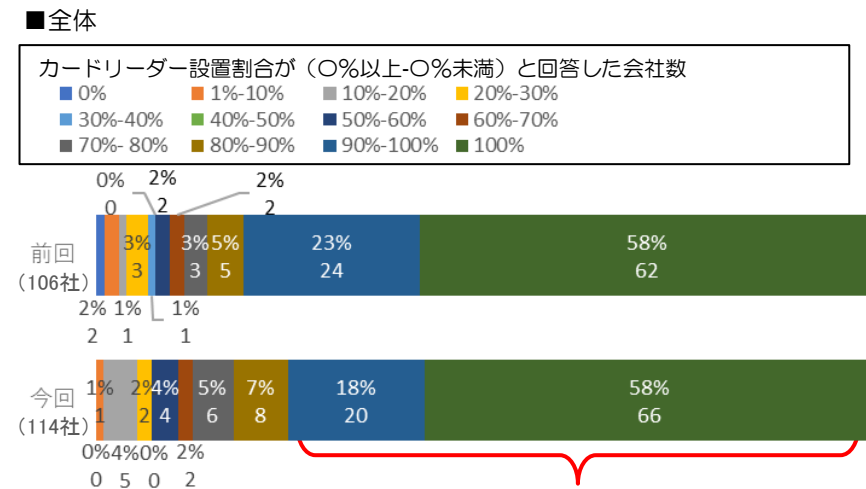
注1) 回答のあった会員のうち、不明と回答した会社分を除いた割合 注2) 「前回」は3月末時点

4-③現場登録等（カードリーダー等の設置状況）

○請負金額1億円以上の登録現場におけるカードリーダー等（顔認証システムを含む）の設置率が100%の会員は前回より4社増の66社（58%）。9割以上としている会員は前回と増減なしの86社（76%、事業費割合では93%）。

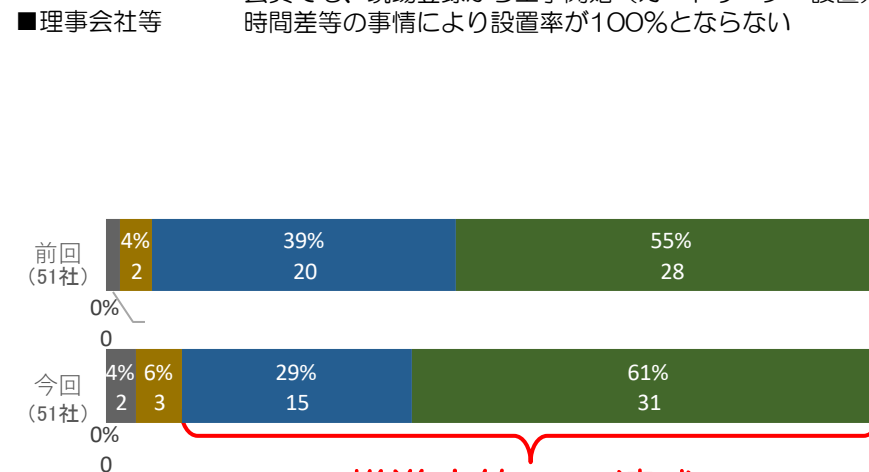
○理事会社等では、100%の会員は前回より3社増の31社（61%）。9割以上としている会員は2社減の46社90%、事業費割合では97%）。

【請負金額1億円以上の登録現場におけるカードリーダー設置割合に係る会員企業の分布状況】



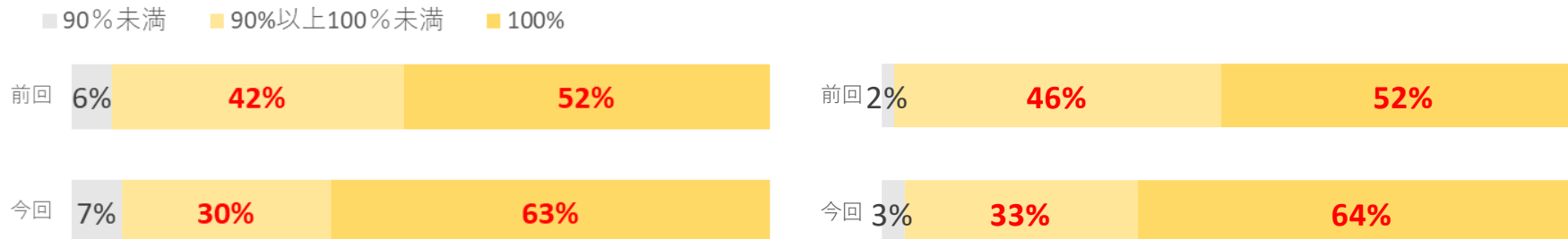
推進方策2021達成

※原則すべての現場にカードリーダーを設置することとしている会員でも、現場登録から工事開始（カードリーダー設置）までの時間差等の事情により設置率が100%とならない



推進方策2021達成

【請負金額1億円以上の登録現場におけるカードリーダー設置割合90%~100%の会社の事業費割合】



注1) 回答のあった会員のうち、不明と回答した会社分を除いた割合 注2) 「前回」は3月末時点

○日建連における課題

- ① 事業者登録率、タッチ率のさらなる向上（協力会ルート、現場ルートへの働きかけを強化）
- ② 取組が進んでいない会員会社の取組促進による底上げ

○日建連以外における課題

現場におけるカードリーダーの設置促進（特に小規模現場、民間工事現場）

⇒公共工事におけるモデル工事等工事評価での加点や総合評価における加点、
カードリーダー設置補助など支援策の充実による環境整備が重要